

伊丹市教育基本方針(概要版)

令和6年(2024年)2月
伊丹市教育委員会

はじめに

1 今の時代

- ・ 異常気象やAIの急速な進展などに象徴されるように先行き不透明な予測困難な時代
- ・ これからの時代は、「人類の存続」にかかわる難問や、社会の急激な変化などに柔軟に対応していかななくてはならない。

2 重点的な取組

(1) 「主体性、問いを立てる力、コミュニケーション能力」の育成

AIがさらに身の回りに広がる社会においては、既存の問いに正解を出すことより、**新たな問いを立てることが大事**

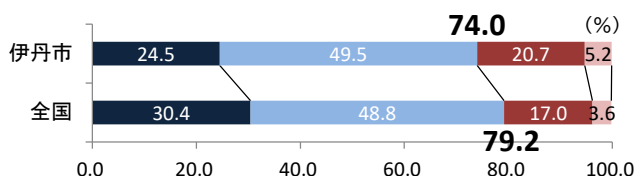
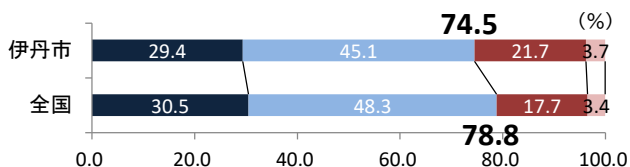
【課題】

【小学校】

【中学校】

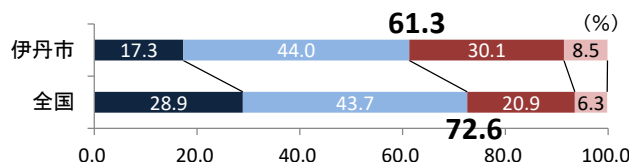
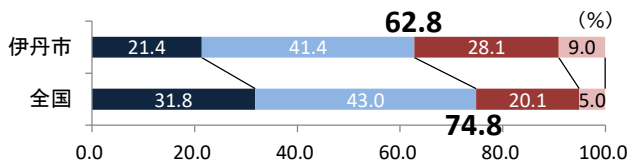
主体的な学び

今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



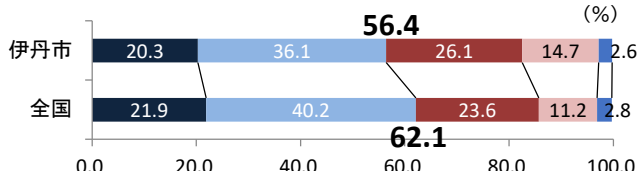
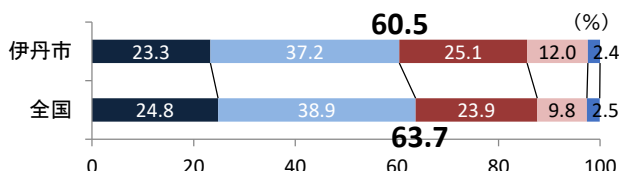
問いを立てる力

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



対話的な学び

今までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



(参考)令和5年度 全国学力・学習状況調査より

【具体的な取組】

（学校において）

「個別最適な学び・協働的な学びの推進」

- ・ 一斉指導による正解主義から脱却し、自分に必要な学びを自分の力で進めていくことのできる資質の育成

（家庭において）

「計画的に学習に取り組む習慣づくり」

- ・ タブレット端末やデジタル教材の有効な活用

（２）教育DXの推進

【背景】

- ① AIの進化はめざましいものがあり、昨日の常識は今日の非常識。このような時代に対応していくためには、ICTを有効に活用できる力が不可欠
- ② 子どもたちは現在、タブレット端末を学習のためのツールとして日常的に活用
 - ・ 授業支援システム
 - ・ デジタル教材
 - ・ デジタル教科書
 - ・ MEXCBT

【課題】

- ・ ログインの煩雑さ
- ・ 教員の「働き方改革」

【具体的な取組】

『伊丹市教育DX推進指針』に則り、教育DXの推進

- ・ 登降園管理や午睡チェック、保護者連絡などを一元化した「次期保育システム」の運用
- ・ シングルサインオンを可能とする「学習eポータル」の整備
- ・ すべての子どもにとって読書が身近なものとなるよう電子書籍の導入

（３）「子どもの最善の利益」を視野に入れた教育の推進

【背景】

全国的に子どもの虐待やうつ症状、不登校、自殺、SNSによるトラブルなどの増加

→ 子どもたちが、将来にわたって豊かで幸せな人生を送るために

- ・ 伸び伸びと自己実現を図ることができる「居場所」の確保が必要
- ・ 子どもの意見を子どもに関する施策に反映していくことが必要

【具体的な取組】

- ・ 学校において、放課後や長期休業中の「子どもの居場所」づくり
- ・ 家庭において、『みんなで学ぼう！子どもの権利条約』の活用
- ・ 子どもの意見を学校行事や不登校・いじめへの対応、校則の見直し等に活かす

３ 教育施策の推進にあたって基本方針

- ・ 前年踏襲でなく、「物事の本質」に立ち返り実施
- ・ 良くても悪くても現状から目をそらさない
- ・ 「縦の連携」と「横の連携」を大切にする
- ・ 教育情報を積極的に発信する

体系1 幼児教育・学校教育

主要施策1 幼児教育・保育

(1) 幼児教育・保育の質の向上

【目的】

- ① 子どものありのままの姿を大切にしたい保育を創造できる保育者の育成
- ② 子どもが安全に過ごすことができ、保育者と保護者が子どもの学びを共有できるような環境の整備
- ③ 個々の子どもの興味・関心や、「やりたい」という気持ちを土台にした子ども主体の教育・保育を推進

【具体的な取組】

- ① 各保育施設へのアドバイザーの訪問
- ② 幼児教育センターにおける実践交流を中心にした研修や連続講座、キャリア別の自主勉強会の実施
- ③ 拠点園における保育公開
- ④ 保育システムやICT関連機器の導入や検討など、教育DXの着実な推進

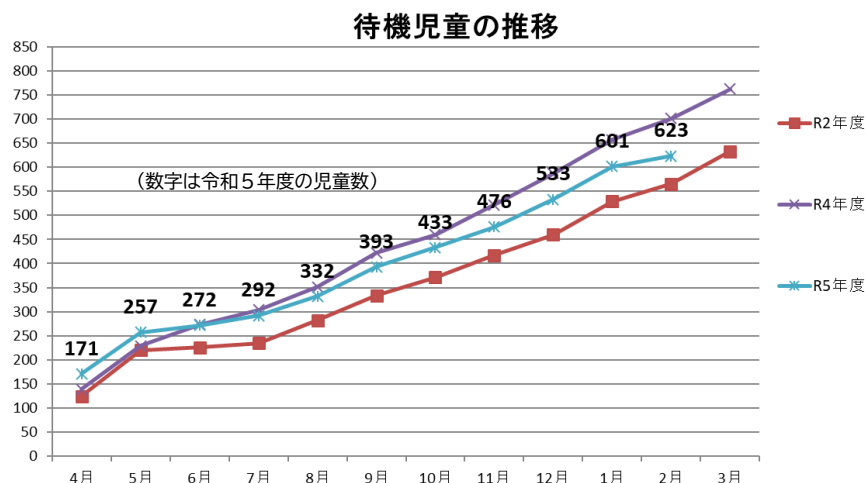
(2) 待機児童の解消

【背景】

保護者の就労率の増加に伴い、**保育所ニーズ**が増え続けている

【具体的な取組】

- ① 新たな民間保育所の誘致
- ② 保育人材の確保



(3) 就学前教育と義務教育の接続(架け橋期の教育)

【目的】

発達と学びの連続性の確保

【具体的な取組】

- ① 保育者と小学校教員が「育みたいこども像」を共有する
- ② 各学校園のカリキュラムに位置付ける

主要施策2 学校教育

1 確かな学力の育成

【目的】

さらなる学力の向上

【具体的な取組】

(1) 授業改善

- ① 教科の楽しさが伝わる体験や実感を伴う授業の充実
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実践

(2) 誰一人取り残さない取組

- ① ICTの活用による習熟に応じた学習や個別最適な学びの充実
- ② 小学校高学年における教科担任制の一層の充実

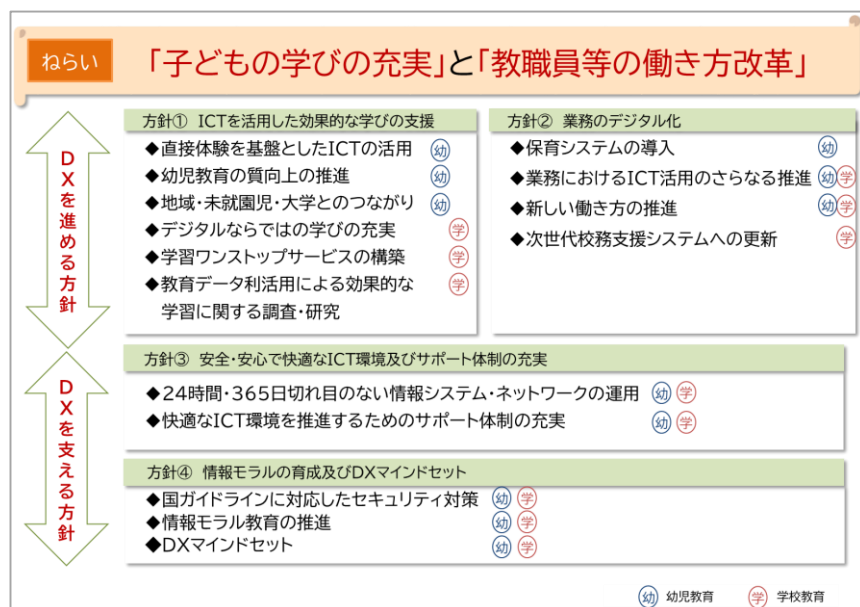
2 教育DXの推進

【目的】

- ① 学習の基盤となる情報活用能力の育成
- ② 教員のICT活用力の向上
- ③ 安全安心なICT環境の実現

【具体的な取組】

- ① ICTの活用による主体的・対話的で深い学びの実践
- ② アウトリーチ研修やICT支援員の活用
- ③ 学習コンテンツのハブ機能やシングルサインオン機能を有する学習eポータルへの導入



3 豊かな心の育成

(1) いじめの対応

【目的】

いじめと重大事態の防止

【具体的な取組】

- ① 未然防止、早期発見、早期対応の充実
- ② 子どもたちの意見を取り入れ、より実効性のある施策の推進

(2) 不登校の児童生徒の対応

【課題】

出現率は全国平均を下回っているが、増加傾向にある

【背景】

- ① 文部科学省が「学校への登校を前提」としていた方針から「社会的自立を目指す」方針に転換したこと
- ② コロナによる休校や学級閉鎖などにより、学校を休むことへの抵抗感が低下したこと

12月末の不登校児童生徒数経年比較 (人)

	R2年	R3年	R4年	R5年
小学校	99	118	131	192
中学校	201	219	190	220

※12月末時点では20日以上欠席

【具体的な取組】

- ① 魅力ある学校づくりやわかる授業の創造
- ② 小中学校への不登校対策支援員の配置
- ③ 校内教育支援センター（別室）の充実
- ④ オンラインの活用や民間施設との連携
- ⑤ 教育支援センター「やまびこ」における
カリキュラムの充実とICTの活用や学校を含む
関係機関との連携を強化

4 健やかな体の育成

(1) 体力向上の促進

【目的】

生涯にわたり健康な生活を送る

【具体的な取組】

- ① 各校の実態に応じた体育授業の改善や休み時間の活用
- ② 家庭との連携による運動の日常化

(2) 部活動の地域移行

【部活動の教育的意義】

競技力や技術力の向上のみならず、学校生活に潤いを与え、人間性の育成や非行防止、社会人としての基礎づくりなど

【課題】

少子化の進展と教員の労働環境の改善

【目的】

- ① スポーツや文化芸術活動に親しむことができる機会の確保
- ② 教員の業務負担の軽減

【具体的な取組】

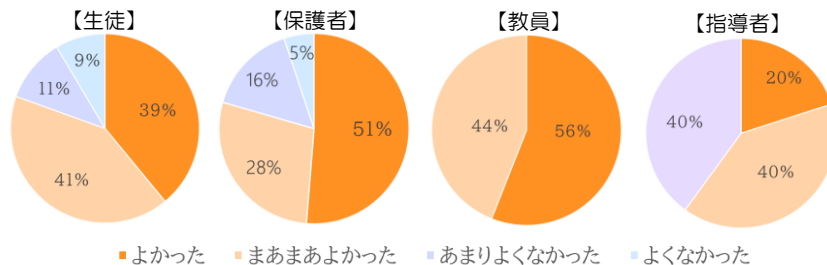
- ① 目指すべき地域クラブ活動の方向性を学校・地域と共有
- ② 丁寧な保護者説明
- ③ 誰もが無理せずに維持できる地域クラブ活動を整備

（地域移行に関する協議会で出た主な意見）
・休日と平日を同時に移行することを考えてほしい

【部活動の地域移行に関するアンケート結果】

対象：1校1部活動で実施した地域クラブ活動

質問：土・日曜日の部活動が地域クラブ活動となり、
どう感じていますか。



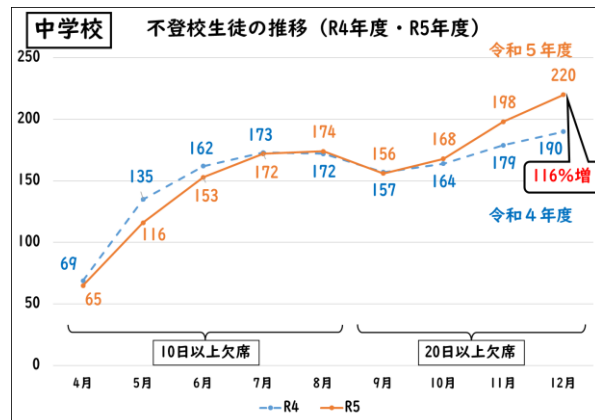
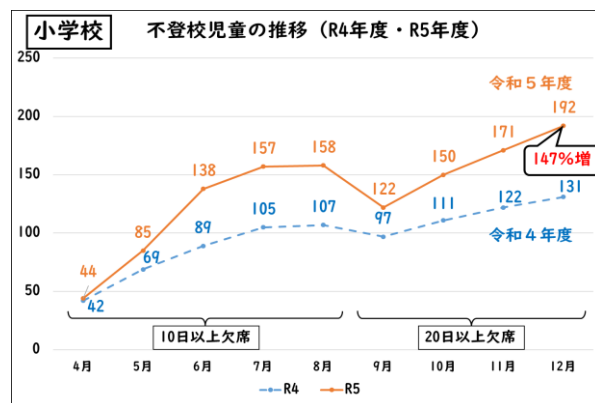
5 市立伊丹高等学校の魅力向上

【目的】

主体的に行動し課題解決に挑む人材や、地域社会や国際社会に貢献する人材の育成

【具体的な取組】

- ① 兵庫県の『県立高等学校教育改革第三次実施計画』に準じて普通科の改革
- ② 探究活動の充実



6 特別支援教育の推進

【背景】

全国的に児童生徒が減少する中、特別な配慮を要する児童・生徒の増加

【目的】

障がいのある子どもの自立と社会参加

【具体的な取組】

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える指導を提供
- ② 多様で柔軟な仕組みの整備

7 教職員の資質向上

【背景】

- ① 不登校児童生徒や配慮を要する児童生徒の増加など「子どもの多様化」
- ② AIの急速な進展

【目的】

子ども一人ひとりの学びを引き出し、支援する「伴走者」としての資質の向上

【具体的な取組】

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践
- ② 異校種間の「縦の接続」を踏まえた研修の実施
- ③ 各校における研究の活性化

主要施策3 教育環境の整備・充実

(1) コミュニティ・スクールの充実

【目的】

学校教育目標の実現

【具体的な取組】

- ① 学校の実態に即した研修会や情報交換会等の実施
- ② 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進

(2) 学校体育館への空調設備の導入

【目的】

教育活動における熱中症予防

【具体的な取組】

2年間で全小中高等学校へ学校体育館の空調設備導入

(3) 学校における働き方改革の推進

【背景】

長時間勤務による教員の疲弊や教員不足

(時間外勤務の変化)

【目的】

- ① 教職員の心身の健康を保持
- ② 情熱とやりがいを持って働く環境の整備

【具体的な取組】

- ① 部活動の地域移行
- ② 教育DXによる業務改善

	幼稚園			小学校			中学校		
	H30	R3	R4	H30	R3	R4	H30	R3	R4
校園長	48	50	52	53	40	41	74	73	68
教頭	60	40	38	97	75	71	126	92	79
主幹教諭・教諭	33	28	29	38	33	30	81	66	65
養護教諭				19	23	13	40	40	40
	高等学校			特別支援学校					
	H30	R3	R4	H30	R3	R4			
主幹教諭・教諭	48	42	46	46	12	17			

・単位：時間

・目標は月45時間

体系2 子育て・子育て

主要施策1 家庭・地域の教育力

1 子育て家庭への経済的支援

- ① 中学生世帯への学校給食費の無償化
- ② 小学生世帯への食材費高騰による保護者負担の補助
- ③ 保育所等における第2子の保育料の無償化

2 子育て・家庭教育の支援

- ① 『第3期伊丹市子ども・子育て支援事業計画』の策定
- ② 家庭教育に関する啓発活動の充実と学習機会の提供

3 子ども一人ひとりに応じた発達支援

- ① 各関係機関との「横断的な連携」や、0歳から18歳に至るまでの「縦断的な連携」の推進
- ② 相談支援専門員の増員による迅速かつ丁寧な相談体制の確立
- ③ 相談者の個別のニーズに丁寧に対応しつつ、地域に潜在する課題を検証

主要施策2 青少年の健全育成

1 子どもの居場所づくりの推進

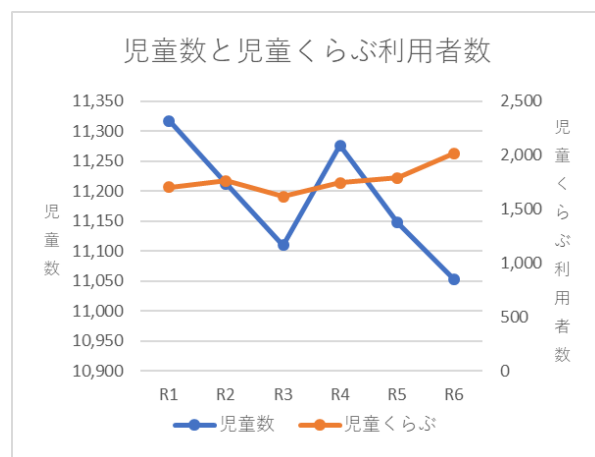
- ① 子どもたちの「居場所づくり」や様々な体験の機会づくり
- ② 稲野児童くらぶ支援室の増室改修工事
- ③ 民間事業者が設置・運営する児童くらぶ参入の推進
- ④ 児童くらぶに設置されている経年劣化の激しい本やおもちゃの買い替え

2 子どもの見守りネットワーク整備

- ① 家庭・地域・関係機関と情報連携
- ② 事業者や学校、関係団体との連携強化
- ③ アウトリーチ型相談支援の更なる推進

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
児童数	11,317	11,212	11,110	11,276	11,147	11,052
児童くらぶ	1,700	1,762	1,616	1,743	1,787	2,014
割合	15.0%	15.7%	14.5%	15.5%	16.0%	18.2%

(R6は2023.12.1見込み)



体系3 生涯学習

主要施策1 生涯学習・スポーツ

1 多様な学習機会の提供

- ① 学習情報発信の充実
- ② デジタル・ディバイド(情報格差)解消などの地域課題に対応した事業の充実

2 図書館サービスの充実

- ① 「第2次子ども読書活動推進計画」に基づく各種事業を推進
- ② 学校や家でタブレット等から利用できる子ども向け電子図書館を導入
- ③ 「交流フロア運営会議」等、多様な事業を通じた市民の学習と交流の促進

3 生涯スポーツが楽しめる環境整備

- ① 「伊丹市スポーツ推進計画」に基づきスポーツ情報の発信やスポーツの意義に関する積極的な啓発
- ② 誰もが気軽にできるニュースポーツの普及

体系4 人権教育

主要施策1 人権教育

1 人権教育・学習の推進

『伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針（令和4年改訂）』に基づく
切れ目のない人権教育の推進と主体的な学びの場の提供

【就学前教育】

- ① 主体性や自己肯定感など非認知能力の育成
- ② 一人ひとりの子どもの個性を尊重した受容的で応答的な保育の実践

【学校教育】

- ① 多様性を認め合う子どもの育成
- ② 学校教育全体を通じて、発達段階に応じた人権教育の推進

【地域】

市民団体との連携や人権教育指導員の派遣及び研修会等の支援



第50回伊丹市人権・同和教育研究大会の様子

結びに

1 教育委員会の究極の目標

子どもたちの幸せの実現 ➡ 様々な教育活動を通じて「自己決定」のできる児童生徒を育てる

2 幸福感に密接に関係するもの

1位「健康」、2位「よい人間関係」、3位「自己決定」、4位「収入」、5位「学歴」

3 自己決定とは

自分のことを自分自身で決められること

教育は「国家100年の大計」であることを心に置き、「不易と流行」を踏まえ、本市の教育を推進していく